

2018年2月16日

継続雇用制度の改善にとりくみ、定年延長実現の第一歩に

出版労連／賃金・社会保障対策部

定年時期延長の動きが広がっています。公務員や大企業でのこうした動きは、今後私たちの職場に広がってくることは確実でしょう。60歳を越えても働き続けることが前提となる社会を迎えています。出版労連内でも、会社から定年延長提案が出たという単組が出始めています。

出版労連では、18秋年闘に向け、定年延長についての統一要求基準を検討しています。それに先立ち、今春闘では継続雇用制度についてその充実を求めましょう。継続雇用制度の充実とは定年延長実現のための第一歩です。今の継続雇用制度の足りない部分、落ち込んでいる部分を埋め、上げていくことが必要です。継続雇用制度についての統一要求基準は「賃金＝定年時の賃金 70%保障」です。みなさんの職場の継続雇用制度はどうなっているでしょうか。一時金は支払われていますか、社会保険への加入はできていますか。まずは今ある制度をチェックし、その改善を求めることから始めましょう。

春闘に向けての要求づくりは、職場の状況、それぞれの賃金や働き方を改めて考え、見直し、チェックする機会でもあります。

- ✓60歳定年時から下がっている労働条件が何なのかチェックしよう
- ✓職場で共に働いている被継続雇用者に話を聞いてみよう
- ✓単組・職場として「みんなの要求」とできる部分がないか検討しよう